

東京新聞フォーラム 「昆虫記の世界」

ら、遊び場には因になかっ
たでしよう。は放置されてい
知の通りです。特にスギの
海や川で泳いだり、魚を
人工林は、枝打ちも間伐も
掬ったり、カニを捕ったり、
されなために、エンピツ
雑木林でカブトムシやクワ
どころか、割り箸を並べた
ガタムシを捕まえたりと、
ように細い木がびっしり立
夏の子供は遊ぶのに忙しか
っただけで、中は真っ暗、鳥
も虫もまったく見られない
家の仕事の手伝いもやっ
た状態です。これではまるで
はです。子供も立派な労働
スギ花粉症の人への嫌がら
せです。要するに、都会は
供のためにもなりません。
もちろん、田舎でも子供や
自然環境、という点では、
大人が自然の中で遊ぼうと
そんな状況が、戦後の、い
しても、その場所がないの
わゆる高度経済成長の時期
です。

とここで、日本人の美意



自然賛歌

を採る方法を教えることな
スルメでザリガニを釣るな
どという遊びもやっています。
小さい子供には何とい
つても生きている虫が一番
です。

ザリガニをビニール袋に
入れて子供にあげると、迎
えに来たお母さんが、「も
らってこないって約束し
よ」と、大声でしかって
います。

子供はどう言つかと思っ
たら、「えへへ、まアま
ア」なんて、母親の扱いに
慣れている様子。お母さん

おくもと・だいざぶろう フラン
ス文学者、作家。大阪市生まれ。
東京大大学院修了。現在「完
訳ファーブル昆虫記」（全20分
冊）を刊行中。豊かな自然の再生
を目指して木を植え、子供たちに
昆虫採集と観察の機会を与えるた
めに「NPO日本アンリ・ファー
ブル会」を設立、理事長に就く。
2006年東京都文京区千駄木の自宅
跡に昆虫の標本やファーブルに関
する資料を展示する「虫の詩人の
館 ファーブル昆虫館」を開館した。
現在、埼玉大学フランス文学
科教授。日本昆虫協会会長。

「作曲家」の面も

佐藤 ファーブルが作
曲した、セミ、コオロ
ギ、愛犬ブルの三曲を演
奏しますが、愛犬ブルに
はどういう意味があった
のかしら。

奥本 ファーブルはイ
ギリスが好きで、愛犬に
「ブル」という名前をつけ
たようです。けんかの強
うなセミの音が、何と

う歌詞がついています。 佐藤 今回のために、バイオリンとピアノ向けた。
作曲家の夏田昌和さんに 作曲していただきました。

夏田 僕はだんはオ
リジナルの曲しか書かな
いのですが、百年くらい
前の人が書いた旋律と対
話するのがだんだん楽し
なりました。

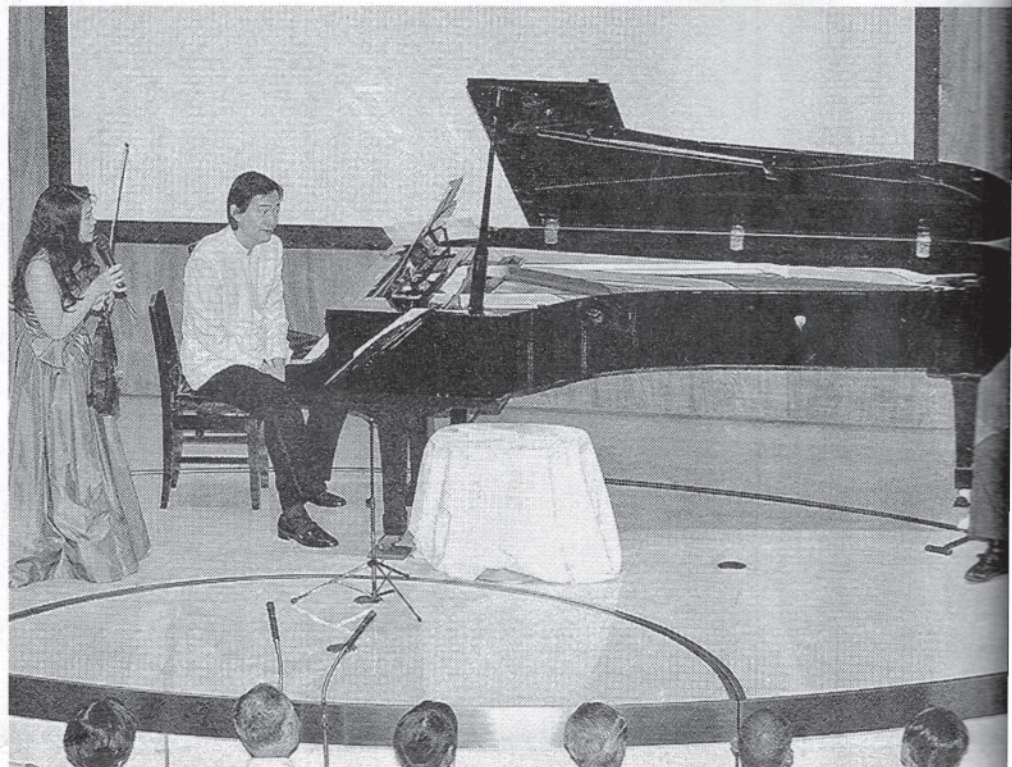
演奏

佐藤まどかさん
渡邊規久雄さん



さとう・まどか 東京芸術大学
付属高校、同大学卒業、同大学院
博士後期課程修了。この間、イギ
リスなどで研さんを積む。シベリ
ウス国際バイオリンコンクールを
はじめとして受賞多数。シベリ
ウスの研究で博士号を取得。国際
的なソリストとして多彩な演奏活
動を展開し、その的確な洞察力と
豊かな表現力は高い評価を受けて
いる。上野学園大学講師。日本シ
ベリウス協会理事。

わたなべ・きくお 林美奈子氏
にピアノの手ほどきを受け、以降、
林秀光、梅谷進、アペイ・サイ
モン、ジョルジュ・シェボック、
スタニフ・ネイガス各氏に師事。
1974年、米インディアナ大を
成績優秀賞をもって卒業、ピアノ
科助手を務め、76年、同大学院
修了。国内外で精力的に演奏活
動を続け、特にフィンランド音楽
に造詣が深い。現在、武蔵野音楽
大学ピアノ科教授。



東京新聞フォーラム「ファーブル昆虫記の世界」で演奏の合間にトークをする（右から本大三郎さん、渡邊規久雄さん、佐藤まどかさん＝2日、東京都千代田区の経団連ホ

えち地サびのたに 虫トるフつバここの大ころケを服にルロ
た、にン越、。遊フ記にんアくちるで後害ころム遊の申トバ